

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 秋川牧園

コード番号 1380 URL <http://www.akikawabokuen.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 秋川 正

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長

(氏名) 原田 良人

TEL 083-929-0630

四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	1,112	5.5	△15	—	△17	—	△22	—
26年3月期第1四半期	1,054	△0.6	△16	—	△14	—	△18	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △19百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 △17百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△5.40	—
26年3月期第1四半期	△4.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%		
27年3月期第1四半期	3,858	—	1,291	33.5	309.52	
26年3月期	3,972	—	1,323	33.3	317.24	

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 1,291百万円 26年3月期 1,323百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	2,191	4.0	△26	—	△35	—	△43	—	△10.47
通期	4,696	3.1	74	—	60	71.7	25	40.7	5.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	4,179,000 株	26年3月期	4,179,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	6,009 株	26年3月期	5,638 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	4,173,235 株	26年3月期1Q	4,173,362 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年6月30日)におけるわが国の経済は、政府の経済政策や金融政策の効果等から企業収益や雇用環境の改善傾向が続き、緩やかな景気の回復基調がみられました。しかしながら消費税増税に伴う駆け込み需要の反動や、人材不足が顕在化するなど依然として先行き不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、原材料価格の高騰や消費税増税に伴う反動減などの影響がありましたが、輸入食品の信頼性に対する不安や健康意識の高まりもあり、消費者の食の安心・安全に対する関心は再び高まりつつあります。

このような状況の中、当社の主たる販売先である産直型の生活協同組合及び宅配会社に対する主力の鶏肉及び冷凍加工食品の販売は堅調に推移し、売上高は増加いたしました。

利益面につきましては、鶏肉及び冷凍加工食品の売上高の増加や、若鶏の飼育成績の向上等の増益要因もありましたが、飼料価格の高騰や、販売費及び一般管理費の増加等により減益となりました。なお、当社グループの売上は、鶏肉等の需要が秋から冬にかけて多くなるため、利益の大半が下半期に発生する傾向があり、当期につきましてもその形で推移するものと見込んでおります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、11億12百万円(前年同期比5.4%増)、営業損失は15百万円(前年同期は16百万円の損失)、経常損失は17百万円(前年同期は14百万円の損失)、四半期純損失は22百万円(前年同期は18百万円の純損失)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「産直畜産事業」、「総合宅配事業」及び「牛乳製造卸売事業」の3区分から、「生産卸売事業」及び「直販事業」の2区分に変更しており、比較、分析は変更後の区分に基づいております。

報告セグメントの変更についての詳細は、「4. 四半期連結財務諸表 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」セグメント情報の「II. 4. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおりであります。

(生産卸売事業)

主に産直型の生活協同組合及び宅配会社へ販売している鶏肉、冷凍加工食品、鶏卵、牛乳等で構成される生産卸売事業につきましては、主力の鶏肉及び冷凍加工食品を中心に、販売が前年同期を上回ったため、売上高は増加いたしました。利益面につきましては、飼料価格の高騰の影響があったものの、売上高の増加や、若鶏及び採卵鶏の飼育成績の向上等により増益となりました。

この結果、生産卸売事業の売上高は、9億42百万円(前年同期比6.6%増)、営業利益は57百万円(前年同期比19.2%増)となりました。

(直販事業)

当社の食品を中心に会員宅に商品をお届けする直販事業につきましては、全国向けの宅配の会員数が首都圏を中心に伸長したものの、消費税増税に伴う需要の反動減等により売上高は微減となりました。利益面につきましては、売上高の減少と、運賃やシステム開発費用等の販売費及び一般管理費の増加により減益となりました。

この結果、直販事業の売上高は、1億69百万円(前年同期比0.4%減)、営業損失は3百万円(前年同期は0.5百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、1億14百万円減少し、38億58百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1億7百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ82百万円減少し、25億66百万円となりました。これは主に長期借入金54百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ32百万円減少し、12億91百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年5月9日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	938,834	831,756
受取手形及び売掛金	546,192	540,887
有価証券	20,470	20,472
商品及び製品	64,103	101,808
仕掛品	195,106	190,344
原材料及び貯蔵品	67,272	65,655
繰延税金資産	18,126	18,724
未収入金	171,962	139,204
その他	29,607	28,745
貸倒引当金	△1,170	△1,587
流動資産合計	2,050,505	1,936,011
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	608,147	601,385
機械装置及び運搬具(純額)	220,604	226,443
土地	802,401	802,401
建設仮勘定	30,293	22,051
その他(純額)	101,784	99,978
有形固定資産合計	1,763,231	1,752,260
無形固定資産		
のれん	51,321	47,992
その他	12,367	25,267
無形固定資産合計	63,688	73,259
投資その他の資産	95,258	96,774
固定資産合計	1,922,179	1,922,294
資産合計	3,972,685	3,858,305
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	403,882	390,987
短期借入金	1,005,075	999,860
リース債務	12,263	12,339
未払法人税等	14,278	7,007
賞与引当金	20,303	16,925
その他	247,933	265,848
流動負債合計	1,703,736	1,692,967
固定負債		
長期借入金	626,482	572,136
リース債務	32,225	29,111

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
繰延税金負債	21,828	23,171
退職給付に係る負債	212,227	205,820
役員退職慰労引当金	52,201	43,446
固定負債合計	944,964	873,686
負債合計	2,648,701	2,566,654
純資産の部		
株主資本		
資本金	714,150	714,150
資本剰余金	554,541	554,541
利益剰余金	52,174	17,104
自己株式	△3,573	△3,716
株主資本合計	1,317,292	1,282,078
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,691	9,572
その他の包括利益累計額合計	6,691	9,572
純資産合計	1,323,984	1,291,651
負債純資産合計	3,972,685	3,858,305

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	1,054,244	1,112,073
売上原価	835,987	880,265
売上総利益	218,257	231,807
販売費及び一般管理費	234,312	247,168
営業損失(△)	△16,055	△15,361
営業外収益		
受取利息	369	130
受取配当金	745	781
補填金収入	4,229	481
その他	1,445	1,087
営業外収益合計	6,788	2,480
営業外費用		
支払利息	5,138	4,264
その他	32	20
営業外費用合計	5,170	4,285
経常損失(△)	△14,437	△17,165
特別利益		
固定資産売却益	628	243
受取保険金	480	—
特別利益合計	1,108	243
特別損失		
固定資産除却損	122	144
特別損失合計	122	144
税金等調整前四半期純損失(△)	△13,451	△17,067
法人税、住民税及び事業税	2,557	6,467
法人税等調整額	2,217	△984
法人税等合計	4,774	5,482
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△18,225	△22,550
四半期純損失(△)	△18,225	△22,550

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△18,225	△22,550
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	981	2,881
その他の包括利益合計	981	2,881
四半期包括利益	△17,244	△19,668
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△17,244	△19,668

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	生産卸売	直販	
売上高			
外部顧客への売上高	883,797	170,447	1,054,244
セグメント間の内部売上高 又は振替高	41,139	625	41,764
計	924,936	171,073	1,096,009
セグメント利益又は損失 (△)	47,866	△510	47,355

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	47,355
のれんの償却額	△3,329
全社費用(注)	△60,081
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△16,055

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び品質管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	生産卸売	直販	
売上高			
外部顧客への売上高	942,242	169,831	1,112,073
セグメント間の内部売上高 又は振替高	41,889	473	42,363
計	984,131	170,304	1,154,436
セグメント利益又は損失 (△)	57,038	△3,857	53,180

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	53,180
のれんの償却額	△3,329
全社費用(注)	△65,212
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△15,361

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び品質管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループのセグメントは、従来「産直畜産事業」、「牛乳製造卸売事業」、「総合宅配事業」の3つの報告セグメントと「その他」に区分しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、「生産卸売事業」と「直販事業」の2つの報告セグメントに変更しております。

これは、中長期経営方針の策定にあたり、管理区分を見直し、これまで個別に管理していた「産直畜産事業」、「牛乳製造卸売事業」、「その他」の事業を「生産卸売事業」として一体管理すること及びグループ全体としての事業の位置づけをより適切に表示するため、「総合宅配事業」を「直販事業」に名称変更したことに伴うものであります。

なお、前第1四半期連結会計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。